



トークンレス・ワンタイムパスワード

PassLogic

エンタープライズ版

バージョンアップ概要とリリースノート(エンタープライズ版 v2.4.0)

2016/5/31



1. リリースノート
2. 機能アップ
3. 機能改善・不具合修正
4. その他・バージョンアップされる場合の注意点

1987

「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム PassLogic認証方式を発明。

2000



PassLogic認証方式が米国特許 (US6141751) を取得。

2000-2006

パスロジック方式の技術ライセンスを日本企業へ提供。

2007

PassLogicのパッケージ販売を開始。SSL-VPN連携機能を実装。

2008



Webサービス組み込み用APIを強化。スマートデバイスにいち早く対応。

2009

Webアプリとの連携機能 (リバースプロキシ & SSO) を実装。LDAPからのユーザID同期を実装。

2010

セキュリティポリシーや運用機能、連携機能など基本機能を大幅に拡充。英語対応し海外展開が可能に。マルチテナント版リリース。

2011

クラウドアプリ連携 (SAML) に対応。スマートデバイス最適化。

2012

マルチテナント版機能拡充しサービスプロバイダのデファクト採用の礎に！
(ソフトバンク/富士通/KDDI/NEC/IIJ など)

70万ID突破

2013

運用の自動化を実現する機能拡充。

80万ID突破

2014

小規模から大規模要件まで対応可能なエンタープライズ版をリリース。

90万ID突破



2015

エンタープライズ版の機能拡充。主要連携製品とメーカー間の検証を完了。

100万ID突破

1987

2016

リリースノート

リリースノート

【機能アップ】

- ・パスワード有効期限の近づいたユーザへのメール通知機能が搭載されました。
- ・前回のログイン日時・パスワード有効期限・アカウント有効期限 をユーザログイン後のメニュー画面に表示できるようになりました。
- ・ユーザデータCSV一括取込で シークレットパターン と スタティックパスワード を指定できるようになりました（特定の位置/文字例 または ランダム発行）。
- ・ユーザデータCSV一括取込で アカウントの ロック/解除状態 を指定できるようになりました。
- ・シークレットパターンのランダム発行「二筆書き」オプションが追加されました。
- ・SAML2.0 SP ini.連携機能が改善され Microsoft Office365に対応しました。
- ・Cloud SAML連携 IdP metadata ダウンロード機能が追加されました。

【機能改善・不具合修正】

- ・ユーザデータCSV一括取込に排他制御機能が追加されました。
- ・メニュー画面 パスワード変更ボタン 表示可否を制御できるようになりました。
- ・ユーザー一覧画面とユーザデータCSV一括出力結果に パスワード変更日時 を追加しました。
- ・メニュー画面スキップ機能を改善し強制パスワード変更後にもメニュースキップが有効になりました。
- ・Cloud 証明書登録機能を改善しました。
- ・ログイン画面 LDAP認証連携ユーザ ADパスワード保存済みの場合はADパスワード入力欄をグレーアウトすることができるようになりました。
- ・乱数表のサイズを変更した場合にシステム管理ユーザへのパスワードメール通知が正しく行われない不具合を修正しました。
- ・LDAP ID同期 複数のドメインで自動同期スケジュールを登録した場合の不具合を修正しました。
- ・LDAP認証連携 OpenLDAPを利用した場合に検索フィルタが適用されない不具合を修正しました。
- ・ユーザIDにドットが含まれている場合に端末固定ができない不具合を修正しました。
- ・WebSSO 認証方式「storefront30」でADパスワードが送信できるようになりました。

【その他・バージョンアップされる場合の注意点】

- ・UI設定のデフォルト文言を変更しました（新規インストールのみ・バージョンアップでの自動更新はされません）。
 - ログイン画面・パスワードリマインダー画面：「ユーザー名」を「ユーザID」に変更
 - パスワード変更：大幅な変更（パスワード変更に関して利用者からのお問合せを減らすために）
- ・下記の条件で表示されるメッセージの表示時間を3秒から60秒に変更しました（バージョンアップで更新されます）。
 - パスワード変更画面：パスワード有効期限切れの時に表示されるメッセージ「パスワード変更が必要です。」
 - メニュー画面：パスワード変更完了後に表示されるメッセージ「パスワード変更が完了しました。」
 - メニュー画面：PassClipアプリ設定完了後に表示されるメッセージ「PassClipアプリの設定が完了しました。」
 - メニュー画面：設定リンクからパラメータ変更完了後に表示されるメッセージ「設定が完了しました。」
- ・ポリシー設定のデフォルトメール通知文を変更しました（新規インストールのみ・バージョンアップでの自動更新はされません）。
 - PassLogic認証ユーザ用の「新規ユーザ送信メール」と「パスワード再発行送信メール」を大幅に変更
 - （初回利用時 および パスワード変更に関して利用者からのお問合せを減らすために）
- ・Cloud SP登録 の管理項目が増え、(SAML連携機能内部仕様)SAML response のXMLフォーマットが更新されました。
 - バージョンアップを検討される場合は事前に連携検証を行ってください。
 - * Google Apps連携を利用中でバージョンアップされる場合は 追加された項目 Audience に RelayStateURL と同じ値を設定してください。



機能アップ

パスワード有効期限が近づいたユーザへ、メールで通知できるようになりました。

シークレットパターンの有効期限 日 ☐ 無制限
※シークレットパターンの有効期限を指定します。(初期値:無制限)

有効期限切れお知らせメール送信
 日 - 日前 毎日 時
※--に設定するとメール送信を行いません。

例えば、7日前に1回だけ送信したい場合は
[7]日 - [7]日前 と設定できます。

メールを送信したくない場合は
-- (デフォルト値) を選択してください。

前回のログイン日時・パスワード有効期限・アカウント有効期限をユーザーログイン後のメニュー画面に表示できるようになりました。

ポリシー設定

前回ログイン日時表示	☒
アカウント有効期限表示	☒
パスワード有効期限表示	YYYY/MM/DD ▼

有効期限日の他、
カウントダウン表記も選択可能



PassLogic

WebAPP

▶ テストアプリケーション

パスワード変更

ログアウト

前回ログイン日時：2016/04/22 08:51:30
アカウント有効期限：無期限
パスワード有効期限：2016/07/21

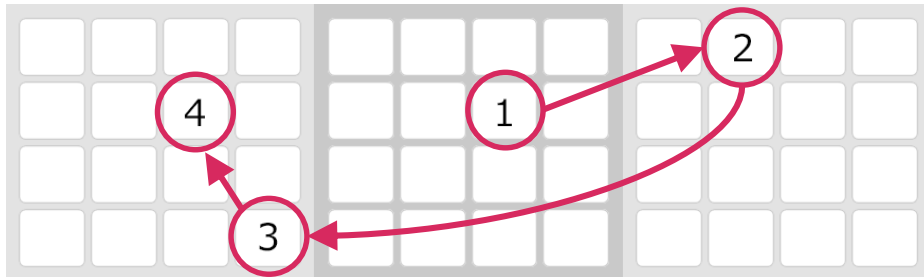
Co.,Ltd. 2000-2016

前回のログイン日時、アカウント有効期限、パスワード有効期限の表示/非表示を個別に設定可能です。

CSV一括取り込み機能拡張 1

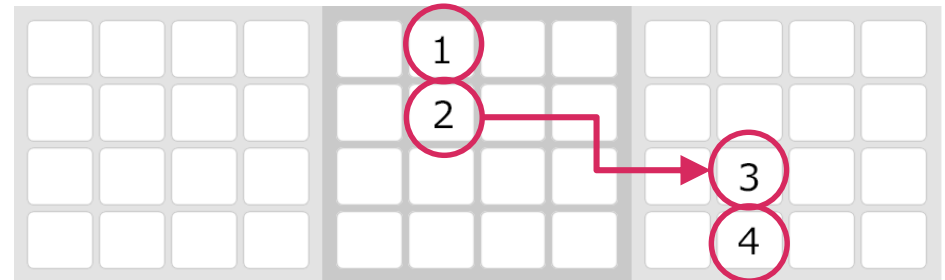
ユーザーデータCSV一括取り込み機能で、初期パスワード（シークレットパターンとスタティックパターン）を管理者が任意に指定できるようになりました。

以前のバージョン



システムが生成する
ランダムなパターンの発行のみ

今回のバージョン



ランダムなパターンの発行に加えて
管理者が任意に指定する
パターンを発行可能に！

ユーザーデータのCSV一括取り込み機能で、アカウントの ロック/解除状態を指定できるようになりました。

CSVのユーザー一括取り込みで
ステータスの変更が可能になりました。

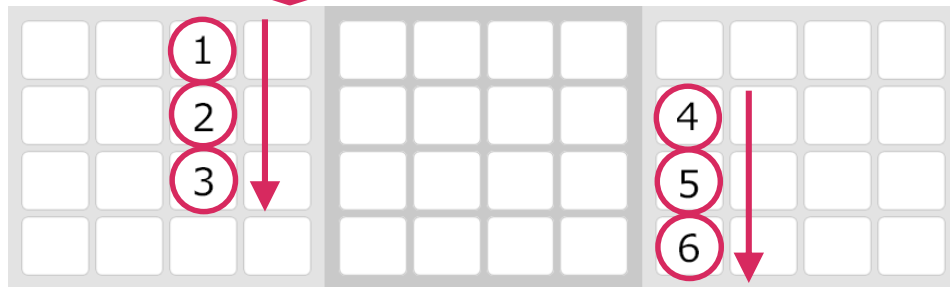
☐	uid ▲▼	domain ▲▼	氏名 ▲▼	ポリシー ▲▼	グループ ▲▼	有効期限 ▲▼	最終認証日時 ▲▼	パスワード変更日時 ▲▼	ロック ▲▼	有効 ▲▼	パスワード再発行	編集	削除
☐	er01	local						2016/04/22 14:03:48	ロックする	有効	パスワード再発行	編集	削除
☐		local						2016/04/22 14:04:09	ロック解除	無効	パスワード再発行	編集	削除

管理ツール上での一括変更も
引き続きご利用いただけます。

パターンのランダム発行機能 -オプション-

シークレットパターンのランダム発行のオプションとして「二筆書き」オプションが追加されました。

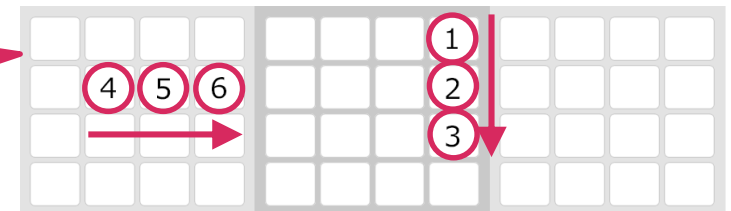
完全にランダムなパターンの発行とは別に
二筆書きで表現可能なランダムパターンを発行できるようになりました。



初期シークレットパターン案内

```
*****  ***1  *****
*456   ***2  *****
*****  ***3  *****
*****  *****  *****
```

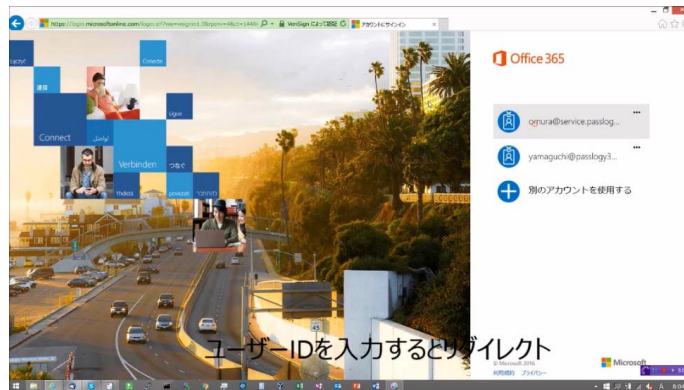
直感的に取りやすい二筆書きパターンを使用することで、
一定のセキュリティを保ちつつも、
利用開始時のユーザー負荷を軽減できます。



MS Office365のSAML2.0連携機能

SAML2.0 SP initiatedの機能が改善されました。
これによりMicrosoft Office365とのSAML2.0連携が可能になりました。

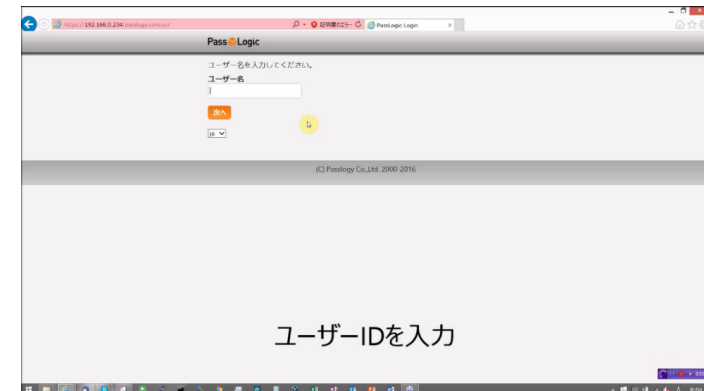
①ユーザIDを入力



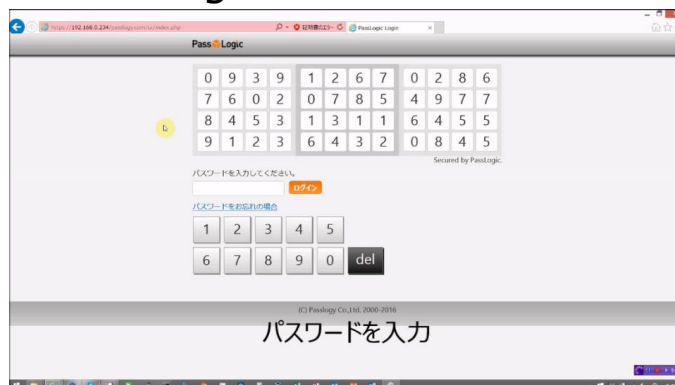
IDを入力すると
リダイレクト開始



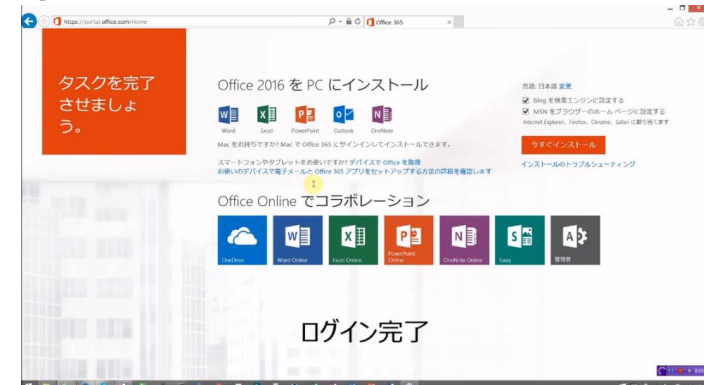
②PassLogicでユーザIDを入力



③PassLogicのパスワードを入力



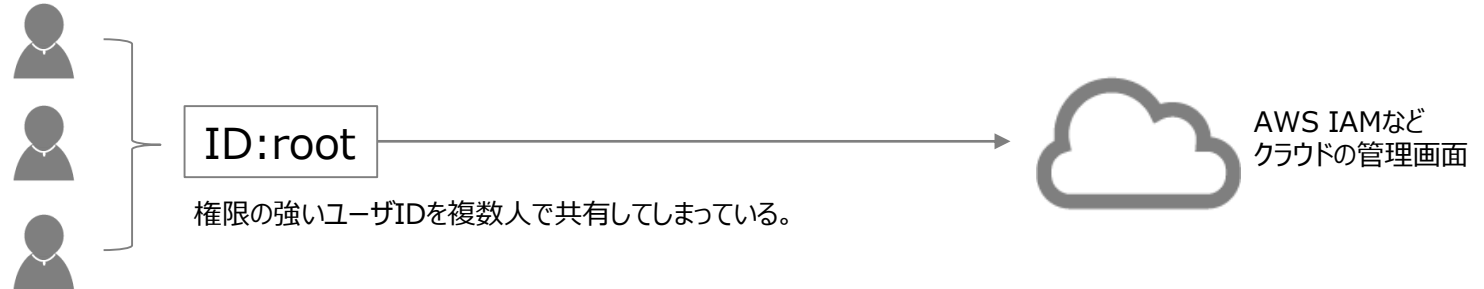
④ログイン完了



Cloud SAML連携において、IdP metadata ダウンロード機能が追加されました。
これによりIAM(AWS Identity and Access Management)などのIdP metadataが必要なクラウドアプリともSAML2.0で連携可能となります。

課題

クラウドの管理者アカウントを複数名で使いまわしている。



解決

PassLogicのユーザIDでログインさせることで、
管理者毎のID管理が実現しセキュリティが向上！



機能改善・不具合修正

PassLogicのパスワード変更をOFFにすることが可能になりました。

パスワード変更ON



パスワード変更OFF



ユーザー用のメニュー画面から
パスワード変更ボタンが無くなります。

ユーザー一覧画面とユーザーデータCSV出力結果にパスワード変更日時を追加しました。

ユーザー一覧 | ロックユーザー一覧 | 無効ユーザー一覧

uid 検索

ロック解除 ▼ 送信

☐	uid ▲▼	domain ▲▼	氏名 ▲▼	ポリシー ▲▼	グループ ▲▼	有効期限 ▲▼	最終認証日時 ▲▼	パスワード変更日時 ▲▼	ロック ▲▼	有効 ▲▼	パスワード再発行	編集	削除
☐	user01	local	パスロジ太郎		sales	2017/03/31	2016/04/22 14:49:30	2016/04/22 14:49:45	ロックする	有効	パスワード再発行	編集	削除

最後にパスワードを変更した日時が
管理画面上のユーザー一覧と
CSV出力結果に表示されます。

その他

パスワード変更の初期メッセージを変更

サポート負担の低減を目的として、初期通知用のメッセージ、パスワード変更時のデフォルトメッセージを改善いたしました。

PassLogic

■パスワード変更：入力 1/3 回目
[ヘルプ：手順を表示](#)

6 1 7 6 1 9 8 0 0 5 0 1
0 2 2 7 8 4 3 3 9 0 7 1
5 8 4 9 8 8 2 4 0 3 0 4
6 2 6 8 9 4 5 2 8 5 4 6

Secured by PassLogic.

次へ

1 2 3 4 5
6 7 8 9 0 del

キャンセル

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2016

クリックするとヘルプが表示される。

PassLogic

■パスワード変更：入力 1/3 回目
[ヘルプ：手順を表示](#)

【はじめに】当システムのパスワード変更手順を説明します。
はじめてご利用になる方は、[認証方式と用語の説明（別ページが開きます）](#)をご参照ください。

【STEP1】下記の条件を満たす「シークレットパターン」と「スタティックパスワード（任意の文字列）」を決めてください。

シークレットパターンの設定条件

- ・6～12マス分を選択
- ・左、中央、右の各16マス（4×4）のブロックから、最低1マスずつ選択
- ・一筆書き（すべてのマスがつながっている）のパターンは禁止

スタティックパスワードの設定条件

- ・6～12桁
- ・半角英数（大文字小文字を区別）
- ・記号（`[ _ . ( ) { } [ ] ~ - / ' ! # $ % ^ ? @ % + \ ` & * = | ; " < >]`）

【STEP2】STEP1で決めたシークレットパターンに沿ってマス内の数字をパスワード欄に入力し、つづけてスタティックパスワードを入力してください。その後、「次へ」を押してください。

パスワード変更の手順（詳細）とヘルプページへのリンクが表示されます。

9 1 7 1
3 3 5 6
1 2 0 9
2 6 1 9 4 3 4 9 5 7 1 8

Secured by PassLogic.

次へ

下位バージョンからのバージョンアップの際に、当バージョンのデフォルトメッセージにより上書きすることはありません。
新規デフォルトメッセージに変更されたい場合は、必要に応じて管理ツール上で更新していただくをお願いします。

SAML response XMLフォーマットを更新

Cloud SP登録の管理項目が増え、SAML responseのXMLフォーマットが更新されました。

旧バージョン

(*) 必須項目

No. (*)
プロバイダの表示順を入力してください。0で強制的に非表示にできます。

プロバイダ (*)

ドメイン (*)

SAMLタイプ SP initiated SSO ▼

UIDタイプ ドメインを含めない ▼

アクセスグループ

-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼
-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼

RelayStateURL (*)

Recipient (*)

Destination (*)

Issuer (*)

バージョンアップを検討される場合は事前に連携検証を行ってください。

* Google Apps連携を利用中でバージョンアップされる場合は 追加された項目 Audience に RelayStateURL と同じ値を設定してください。

新バージョン

(*) 必須項目

No. (*)
プロバイダの表示順を入力してください。0で強制的に非表示にできます。

プロバイダ (*)

SAMLタイプ SP initiated SSO ▼

UIDタイプ uid ▼

ドメイン

RelayStateURL (*)

Recipient (*)

Destination (*)

Issuer (*)

Audience

PassLogic FQDN
Idp metadataを利用する場合は必須です。ユーザアクセスURLの一部 "http(s)://<PassLogicFQDN>" を入力してください。

Attribute mapping1 - ▼

Attribute mapping2 - ▼

Attribute mapping3 - ▼

Attribute mapping4 - ▼

Attribute mapping5 - ▼

アクセスグループ

-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼
-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼	-- ▼